

久しくゴロゴロ通信もごぶさたしてしまった。この冬はことに寒く、一月にはIS国で日本のジャーナリストが無惨に殺害されるニュースがあり、加えてすべての日本人も覚悟しろとの声明が放たれた。わたしのリハビリ入院二週間のあいだ中のことで、テレビも新聞もこのはなしで埋まっていた。

二月後半には、純情の少年が年上の仲間にいびられ、切られ厳寒の多摩川に突き放たれて亡くなった。三月二十日すぎには、自衛隊がついに軍隊となる運命を突きつけられた。拒否の叫びは空しく日本はいつでも戦争に突入できることになった。政治の欺瞞だ。桜満開の四月は三寒四温の温度の高低のはげしさに翻弄され、ままならぬわが体調が浮きつ沈みつした。この一文を書きすすめている傍らでは、テレビが国連本部での約190余カ国による「核不拡散条約再検討会議」は最終文書の採択が出来ず決裂した、と伝える。

みなさんはどうしてられるのだろうか。なにか辛い世の中を辛い思いでいられるのか、けろりと世の愚かさを愉しみ生きていられるのか。

ほんとうに久しくゴロゴロ通信もごぶさたしてしまった。その間わたしはと言えば為すほどのこともなく、一本の影絵詩劇脚本をしょぼしょぼと書きすすめていた。ほぼ終わりに近づいたかな。タイトルは「(新版) 恋多きアルジュノの恋の終り」。

秋以降の主なワヤン上演の予定はとりあえず以下のとおりです。(松本亮)

2015年九月三日(木)夜 オープニング上演

第3回 Jogja Japan week 2015 (9/3-6)

演目|| 影絵詩劇「野獣、恋のバラード Raksasa dan Gadis Cantik

(インドネシア語版) 脚本・演出|| 松本亮

会場|| グラハ・サブハ・プラマナ・ホール (ガジャマダ大学)

主催|| ジョクジャカルタ特別州ロイヤルシルク財団

九月二十六日(土) 午後二時開演 入場無料

演目|| カルノの誕生 オリジナル|| キ・ステイノ 訳|| 松本亮

語り|| 竹内弘道、ダラン|| 中辻正 前奏|| ランバンサリ有志

会場|| 東京家政大学120周年記念1階多目的ホール

主催|| 東京家政大学博物館 (改めてチラシが出ます)

さらには先ほどの「恋多きアルジュノ」の新作を早くも聞き伝えて、この秋にはソレ上演してもらえるのかと打診してきてくれた奇特なお方もある。お話進行中。

わたしどもの協会も創立40年を超えたが、もともとちよつとした同好会以上のものではなく、多少は格好ついた時もあつたけれど、その時どきで何ともはづかしいほどな拍子抜けもお見せしてきたように思う。良かれ悪しかれ、どんどん時代は変わっていく。どこの世界にもつねに新陳代謝がおこるものだ。ワヤンにおける新鮮な名乗りは? 日本では? そしてジャワでは?